

II 地域におけるオートプシー・イメージング (Ai) の取り組み

3. 茨城県鹿行地域における死体検案とAi

横山 寿宏 小山記念病院診療技術部副部長 / 放射線科科長

茨城県は、人口10万人あたりの医師数が全国平均の237.8人に対し175.7人という、全国ワースト2位の県である。その中でも、二次医療圏別に見て県南東部に位置する鹿行地域は、さらに少ない88.6人(県内ワースト1位)という全国平均の半分にも満たない非常に深刻な医師不足に悩んでいる医療過疎地域である(茨城県医療対策課, 厚生労働省資料より)。表1に示したとおり、脳疾患と心疾患における標準化死亡比は、軒並み全国の平均を上回り(死亡率が高いことを意味する)、2倍を優に超える疾患も見受けられる。とても十分な医療が行き届いているとは言い難い地域である。

本稿では、鹿行地域および当院における死体検案の現状、当院での取り組みについて述べることにする。

茨城県鹿行地域の検視・Ai件数について

2013年中の茨城県全体の検視取り扱い件数は4232件であり、そのうちオートプシー・イメージング(以下、Ai)目的のCT(以下、Ai-CT)を撮影した件数は1865件(検視件数の44%)であった。鹿行地域だけを見ていくと、管轄しているのは鹿嶋警察署、鉾田警察署、行方警察署であるが、そのうち鹿嶋警察署管内の検視取り扱い件数は276件で、Ai-CTを撮影した件数は201件(検視件数の72.8%)と、茨城県全体のAi-CT件数に対し非常に高い割合で撮影を行っている地域であると言える(鹿嶋警察署資料より)。

当院での死体検案の現状

当院は、茨城県鹿行地域の鹿嶋市に位置している。病床数224床、平均外来数771名、平均入院患者数193名、平均在院日数12.5日、病床稼働率86%、1か月平均新規入院患者数465名(いずれも2013年実績)、常勤医師数47名(2014年9月現在)であり、地域の中核を担う病院である。

放射線科は常勤医師1名(非常勤医師2名)、診療放射線技師(以下、技師)16名、事務員・助手4名という構成であり、検査設備としては、一般撮影装置3台、CT2台(64列、16列)、MRI1台(1.5T)、マンモグラフィ2台、血管撮影装置2台、X線TV装置2台、骨密度

表1 鹿行地域の標準化死亡比(2008~2012年)

■は全国平均の1.5倍以上、■は全国平均の2倍以上、■は全国平均以下を示す。

	脳血管疾患		うち脳内出血		うち脳梗塞		心疾患(高血圧性心疾患を除く)		うち急性心筋梗塞	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
潮来保健所管内	1.52	1.59	1.23	1.32	1.70	1.80	1.14	1.14	1.95	1.63
鹿嶋市	1.22	1.20	1.04	1.13	1.30	1.25	1.09	1.15	1.86	1.84
神栖市	1.80	1.99	1.31	1.54	2.13	2.38	1.38	1.13	2.14	1.58
潮来市	1.50	1.45	1.43	1.17	1.56	1.53	1.00	1.05	1.65	1.39
鉾田保健所管内	1.35	1.37	0.97	1.05	1.36	1.45	1.14	1.14	1.95	1.83
行方市	1.43	1.47	0.89	0.90	1.55	1.76	1.11	1.06	2.03	1.75
鉾田市	1.29	1.29	1.04	1.19	1.20	1.17	1.16	1.22	1.89	1.89
つくば保健所管内	1.03	1.03	0.92	0.91	1.10	1.07	1.03	1.07	0.96	0.99

「人口動態保健所・市町村別統計」
「標準化死亡比、主要死因・性・都道府県・保健所・市区町村別」：厚生労働省(2008~2012年)より